

役所改革



庁舎内
限られた職員で最大限の行政サービスを提供できるよう、部局を飛び越えて横断的に協力できる意識を醸成していきます。

厳しい財政状況の中で多様化する市民ニーズにこたえていくためには、市役所の考え方や構造を常に改善していかなければなりません。職員の資質向上と、適

時適材適所、情報公開の徹底と有機的な広報広聴など、行財政を戦略的に経営していく意識を育てていきます。



ランチミーティング
職員が意見を交換する雰囲気を作り、より効果的で効率的な行政運営を目指します。



庁舎外観
田村市役所本庁舎。窓口業務など接遇の向上を図り、市民が気持ちよく利用できる市役所づくりを進めます。



窓口
市民のニーズに的確に対応するため、利用しやすい窓口と分かりやすい行政運営を目指します。

誇れるまちづくり



水田
遊休農地の解消は大きな課題のひとつです。美しい里山の再生は市民の誇りにもなります。

人が同じ場所に住み続ける要件は、雇用や福祉の充実だけではなく、利便性だけでなくありません。その場所に愛着を抱き、誇りを持つことが必要ではないで

しょうか。生まれ育った地域に誇りを持ってもらうために、たむらの魅力を発信していきます。
例えば観光です。観光資源の見直しや発掘をしつつ、観光情報の発信を強化していきます。遊休農地を解消して、美しい里山を取り戻すことも必要になるでしょう。たむらに誇りを持ち、たむらに戻ってきてくれる人が増える施策を進めていきます。



灯まつり
市民や地域団体のまちづくり活動を推進し、良好な地域コミュニティの形成を図ります。

市民の手による地域創生



フェス
市民協働はまちづくりの基本です。市民の皆さんが積極的にまちづくりに貢献しやすい環境を整えます。

まちづくりは行政だけでなく、市民や企業、地域社会を構成するみんなで取り組むものです。農業の6次事業化を進めて新たな特産品を生み出すのも、グリーン・ツーリズムを展開して交流人口を拡大するのも、行政だけでは決まることができません。空き家の活用や婚活支援なども、みなさんと手を携えながら取り組んでいきます。

グリーン・ツーリズム
グリーン・ツーリズムや観光振興によって、交流人口の拡大を図ります。

